



DGZI
とは…

ヨーロッパで最古の歴史を誇るインプラント学会。ドイツにおいて約4,000名、世界中に66か国、計14,000名以上の会員がいます。この学会の認定証を取得する事は、インプラント専門医として、大きな信頼と社会的な評価というステイタスが与えられることとなります。

一般社団法人 国際口腔インプラント学会
ドイツ口腔インプラント学会 日本支部

2021SUN

国際口腔インプラント学会・ドイツ口腔インプラント学会日本支部

1.24

大阪学術 講演会

認定ポイント10pt 取得出来ます。

●歯科医師部門講義13:00~16:30

超高齢社会における可撤式義歯としてのIOD, IARPDの応用



亀田行雄 先生

医療法人D&H かめだ歯科医院

1988 東北大学歯学部卒業
1991-2002 東京医科歯科大学歯学部 高齢者歯科学講座在籍
1994- 川口市にてかめだ歯科医院開設
2014- 医療法人D&H設立 分院の樹モール歯科開設

■所属学会と主な役職

有床義歯学会 (JPDA) 会長・学会指導医
日本顎咬合学会 評議員
日本臨床歯周療法集談会 (JCPG) 副会長
てんとう虫スタディーグループ会長, TMSIコース主宰

参考図書

『インプラントオーバーデンチャー IARPDの臨床』
監修・著 亀田行雄
多数歯欠損の新しい視点
IARPDに関して、現時点でわかっているエビデンスを整理し、従来の補綴装置との利点だけでなく欠点も明確にしました。
インプラントの埋入からメンテナンスまで、症例も多数掲載し、臨床に即した内容となっております。
IARPDを治療のオプションとして取り入れる一助となれば幸いです。

●衛生士部門講義13:00~16:00

『歯科衛生士のためのインプラントメンテナンス』

加藤久子 先生

歯科衛生士

略歴

日本歯科学院専門学校卒業
1995年 ノースイースタン大学卒業
Forsyth School For Dental Hygienists
アドバンスデンタルハイジーンプログラム終了
コミュニティヘルスセンター勤務
2001年 デンタルサービス勤務
2002年~ 歯科エージェンシー勤務
現在フリーの歯科衛生士

参考図書

『歯科衛生士のためのインプラントメンテナンス』
著 加藤久子
国際口腔インプラント学会推薦図書
認定歯科衛生士試験参考図書
米国の大学でインプラントメンテナンスにおける知識を学び、数多くの症例に携わってこられたDH、加藤久子氏の著書です。歯科衛生士目線の立場でインプラントメンテナンスを中心としたベーシックな内容になっています。明日からの臨床にすぐに生かせるような具体的な方法が目白押しで、必読です。



参加
人数

歯科医師: 60 名
衛生士: 30 名

3密防止の為
定員を限定して
おります。

*申込期日までにご入金がない場合、お席の確保が難しい場合がございます。

大阪

太成学院大学
歯科衛生専門学校

〒530-0054 大阪府大阪市北区南森町2丁目1-8
南森町駅、大阪天満宮駅前より徒歩1分



ISIO & DGZI Japan section

1月24日 認定試験

同時
開催

Authority of Implantology (指導医)
Clinical of Implantology (認定医)
認定技工士
認定歯科衛生士
インプラントコーディネーター

10:00~
講義13:00~

日本は超高齢社会となり、我々歯科医師が治療対象とする患者も高齢者の割合が多くなった。一般的に高齢者治療は治療や通院にかけられる時間も少なく、治療方法が制約されることが多い。またプラークコントロールも低下しやすく、中途半端で妥協的な治療になりやすい。特に若い歯科医師からは、理想とする治療が行えず、やりがいの少ない分野と思われる節がある。

ところが我々が行う歯科医療は、様々な補綴治療を駆使することで、高齢者にとって一番の幸せである“食べる”ことを達成することができ、患者からも喜ばれる意義のある医療でもある。

しかし高齢者の口腔内は過去に比べ、残存歯数も増え、無歯顎ばかりでなく多数歯欠損、少数歯欠損と欠損形態のバリエーションも増えてきて、治療方法もシンプルには行かなくなってきている。そのように疾病構造は明らかに変化しており、その変化に対応した咬合再構成が求められる。そのためにも術前の診査診断では、患者の年齢に応じた治療計画などを術者は考えなければいけない。また補綴治療の選択でも、クラウンブリッジやインプラントなど固定式の補綴装置だけでなく、可撤式義歯さらにはインプラントを併用したインプラントオーバーデンチャー (IOD) など、歯科医療全般にわたる広い分野の医療技術が我々に求められる。

そのように高齢者歯科医療は多くの知識と技術が必要な分野であり、我々歯科医師の腕の奮いどころでもある。

特にこれから高齢者歯科医療を考えると、アクティブシニアと呼ばれる元気な高齢者が増え、高機能な義歯を求める傾向が強くなるであろう。そのような時代では、高齢な無歯顎患者におけるIODの需要が増えてくる。また残存歯のある高齢者も増えており、多数歯欠損ではインプラントを併用したパーシャルデンチャーであるIARPDが有効となる。今回可撤式義歯を用いた症例を供覧しながら、特に若手の歯科医師の方々には年齢を考慮した補綴治療について一緒に考えていただきたい。

主な内容 1. 超高齢社会における可撤式義歯という補綴の選択 2. 無歯顎者におけるIOD
3. インプラントを併用したパーシャルデンチャー：IARPD

インプラントの長期成功において、歯科衛生士は臨床上大きな役割を担っています。

歯科医師が立案した治療計画においてインプラント手術前後はもちろん最終補綴が完了した後、歯科衛生士は患者さんとの良い関係を保ちつつ、口腔環境のコントロールを行うことが重要です。

インプラント治療患者における残存歯（特に隣在歯）の歯周病は感染症のため、メンテナンスでの継続的なコントロールを行う必要があります。

歯科衛生士は患者の口腔内の状況に合わせた口腔ケアの提案また指導を行うにあたり、経験則のみにとらわれず適切な器具を選択しインプラント体を傷つけずプラーク除去を行う必要があります。

これらの一連の処置を歯科衛生士が行うには、インプラントについての正確な基礎知識、メンテナンスについての確かな知識と技術の習得が非常に大切です。

今回の私の講演ではこれら上記の内容を解説し、受講生の方々とグループ毎のミニ実習を行い臨床上必要な確かな知識と実技の習得を目標とし進めて行く予定です。

申込方法

学会ホームページからオンラインにてお申込みください。

講義は13:00~より実施致します。昼食はお済ませいただきご来場ください。

受講料	Dr.	DH.	DT.
会員	¥ 17,000	¥ 7,000	¥ 8,000
当日 (会員)	¥ 19,000	¥ 9,000	¥ 10,000
会員同伴の 非会員1名	¥ 22,000	¥ 11,000	¥ 12,000



参加申し込みは

左のQRコードをスマートフォン又はケータイから読み込むことで直接お申込みページにアクセスできます。

お友達登録で
5ポイント進呈



※本セミナーは事前参加登録を原則とさせていただきます。
当日受付の場合、お席が可能性がございます。

オンライン不可の場合のお申込み

オンライン申込み不可の場合は、下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

追ってお申し込みの受領及び受講料のお支払い方法等を、メールにてご連絡致しますので、メールアドレスを必ずご記入ください。

認定試験受講者はオンライン申込みのこと!

ふりがな お名前	所属先(貴法人又は貴院名)
<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員	〒
<input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 衛生士 <input type="checkbox"/> 技工士	ご住所
個人メールアドレス(必須)	TEL () FAX ()

お問合わせ 国際口腔インプラント学会 事務局

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町10-11 日本橋府川ビル2階

TEL:03-6892-1895 E-mail: isoi_secretariat@nta.co.jp

FAX

FAX 24時間
受付

03-6892-1830